

令和4年度 福島市高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

福島市高齢者インフルエンザ予防接種を受ける方へ(説明書)

福島市では、次の方を対象にインフルエンザの定期予防接種を実施します。
重症化予防のため、接種を希望される方は、お早めにお受けください。

対象者	福島市に住民登録があり、接種を希望する①または②の方 ① <u>接種当日</u> 65歳以上の方 ② <u>接種当日</u> 60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいをもち、身体障害者手帳1級の方
期間	令和4年10月1日(土)～令和4年12月28日(水)
料金	1,400円(生活保護受給者で <u>上記対象者</u> は無料)
回数	1回
場所	福島市内の登録医療機関(裏面参照) ※県内の「福島県広域予防接種実施医療機関」でも受けられます。 詳しくは医療機関へお問合せください。
持ち物	・「保険証」等の住所・氏名・生年月日が確認できるもの ・お持ちの方は「お薬手帳」等の接種記録ができるもの ・対象者②の方は、「身体障害者手帳」 ・生活保護受給者は、「生活保護受給証明書」または「保護決定通知書」

予防接種の受け方

事前に予約をしましょう。予診票は医療機関にあります。

- ・上記対象者で、本人に受ける意志がある場合にのみ受けることができる予防接種です。
- ・接種を希望される方は、裏面の医療機関に予約をしてお受けください。
- ・体調のよいときに受けましょう。気にかかることや分からないことがあれば、受ける前に接種医に聞きましょう。
- ・他のワクチンとの接種間隔について
インフルエンザワクチンの接種前後に他のワクチン(新型コロナワクチン含む)を受ける場合、接種間隔に決まりはありません。医療機関にご相談ください。

インフルエンザとワクチンについて

インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。流行は通常初冬から春先にみられます。症状は突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等、普通のかぜに比べて全身の症状が強いことが特徴です。重症化したり、肺炎・脳炎等の合併症を起こしたりすることがあります。

予防接種の効果は、個人差がありますが抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果は約5か月間です。



【お問合せ】福島市保健所 保健予防課 感染症対策係
電話 572-3152 FAX 572-3145

1 接種前に気をつけること

- ・体調のよいときに受けましょう。免疫が付きやすくなります。
- ・予診票はもれのないよう全て記入し、接種医に正しい情報を伝えましょう。(医師が接種の判断をする上で大切な情報です。健康被害の防止にもなります。)
- ・副反応等について理解し、同意の署名(予診票)を記入してから受けましょう。気にかかることや分からないことがあれば、受ける前に接種医に聞きましょう。

2 予防接種を受けることができない方(接種不適合者)

- ① 接種当日、37.5℃以上の発熱のある方
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーがあらわれたことがある方
- ④ インフルエンザの定期接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方、及び全身性発疹等のアレルギーを疑う病状があらわれたことがある方
- ⑤ このほか、医師により予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断された方

3 予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない方(接種要注意者)

- ① 心臓血管系の病気、腎臓病、肝臓病、血液の病気などがある方
- ② 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方
- ③ 過去に免疫不全の診断がされている方、及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ④ 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系の病気がある方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーがあらわれるおそれのある方

4 接種後に気をつけること

(1) 予防接種後に起こるかもしれない身体の変化 ～副反応について～

予防接種の後、まれにショックやじんましん等の「副反応」が起こることがあります。接種後30分は医療機関内で様子を見るか、医師とすぐ連絡がとれるようにしましょう。副反応の多くは24時間以内にあらわれますので、特にこの間は体調に注意してください。1週間は体調の変化にお気をつけください。

① 重大な副反応 ⇒ 極めてまれです。すぐに接種医に連絡しましょう!

アナフィラキシー様症状(じんましん・呼吸困難・血管浮腫等)、ギラン・バレー症候群(手のひらや足裏のしびれ感、手足の力が入りにくくなる等)、急性散在性脳脊髄炎(発熱、頭痛、けいれん、体が動きにくくなる、意識がもうろうとする等)、けいれん、肝機能障害、黄疸、喘息発作等

② その他の副反応 ⇒ よくみられ2～3日で治ります

- ・過敏症…まれに接種直後から数日中に、発疹、じんましん、紅斑、かゆみ等
- ・全身の症状…発熱・悪寒・頭痛・全身のだるさ等
- ・注射した所の症状…発赤・はれ・痛み等

(2) その他、接種後の注意

- ・注射したところは清潔に保ちましょう。
- ・当日は激しい運動は避けましょう。
- ・入浴は差し支えありませんが、注射したところを強くこすことはやめましょう。

5 もしものために知っていただきたいこと ～健康被害救済制度について～

万が一、定期予防接種で副反応があらわれ、医療機関での治療が必要になったとき等(健康被害)は、法律に定められた救済制度があります。診察した医師および福島市保健予防課にご相談ください。